おわりに

- 一見、あまり特徴がないと思っていた瑞穂区の街。ところがそこには、よく見ると、いくつもの素晴らしい歴史が隠れていました。
- ★ 平野部の工場地域は、全国でも最先端といえる工業団地だったのです。
- B 台地部の旧制高等教育施設の集まりは、名古屋はもちろん、全国で見ても、数少ない例といえるでしょう。
- 谷間部の瑞穂公園や桜並木は、全国でも有数のもので、しかもそれは住民が土地や事業費を出し合ってつくったものでした。
- 丘陵部の街は、「山林都市」を掲げ、自然や環境を大切にするという 哲学で設計された、全国でも貴重な街づくりだったのです。

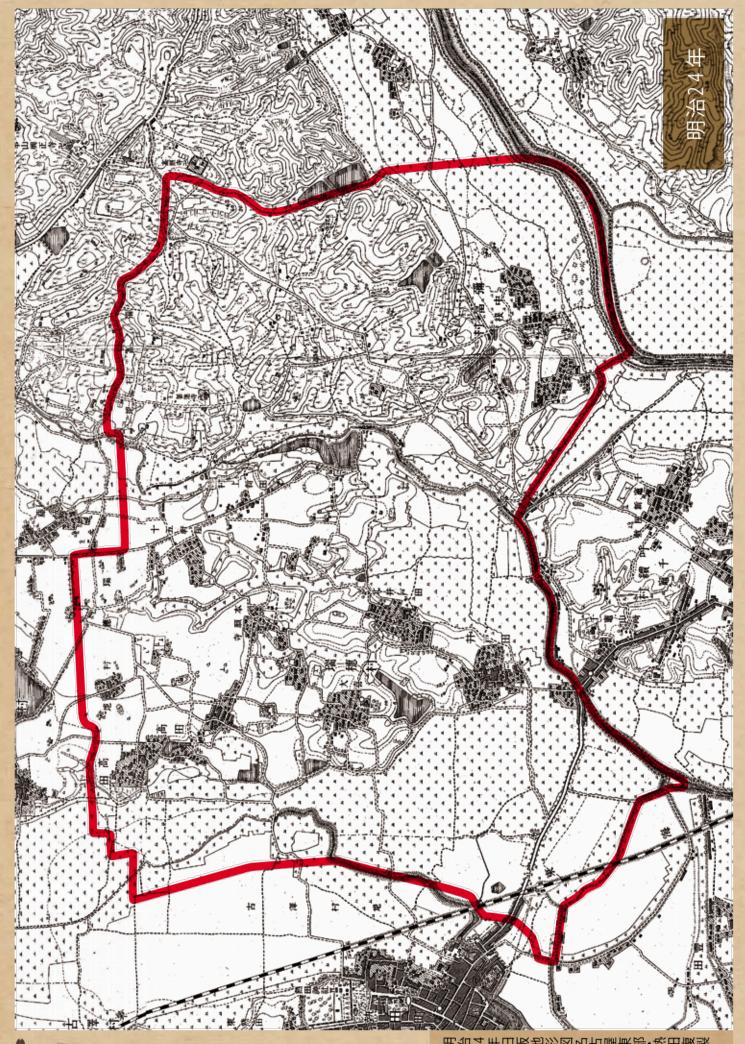
今回、瑞穂区の魅力を探して、以上のようないくつもの新しい発見ができたことは幸せでした。今回の試みは、短い時間だったこともあり、限られた情報にすぎません。これらを足掛かりに、さらに新しい魅力を探しだして、真に瑞穂区を誇り得るものにしていければと思います。

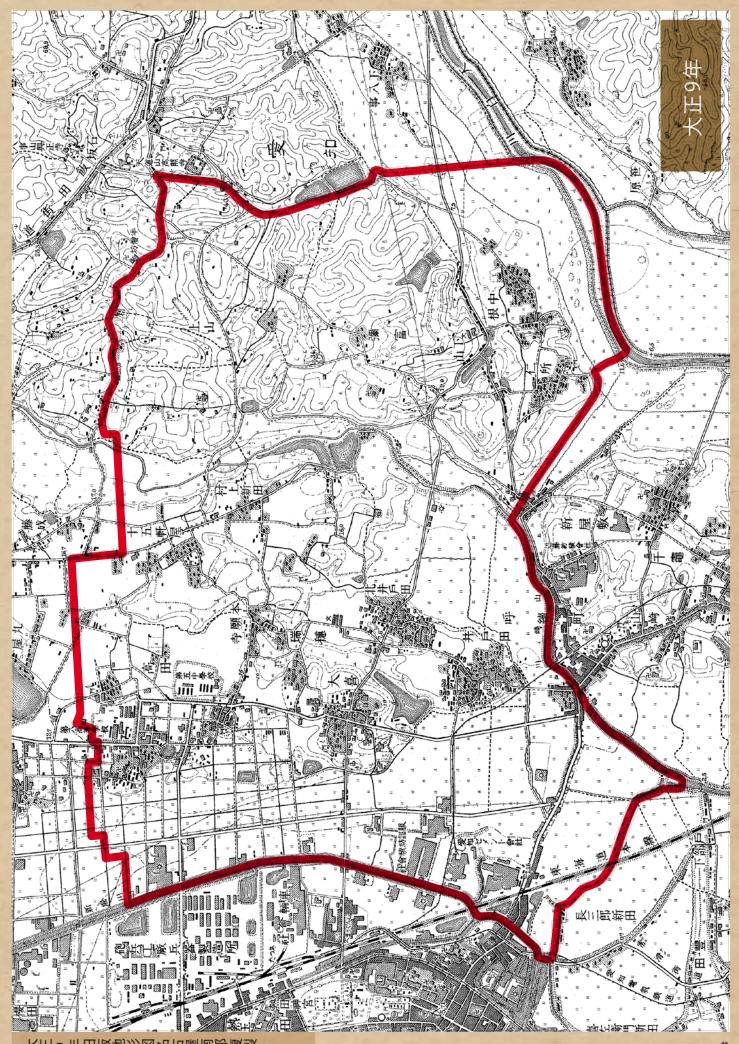
同時に、これらの魅力が今日の街にどのように残っているかを、 確かめることも必要です。そしてそれらを子々孫々まで伝えていく ことも、私たちの務めではないでしょうか。

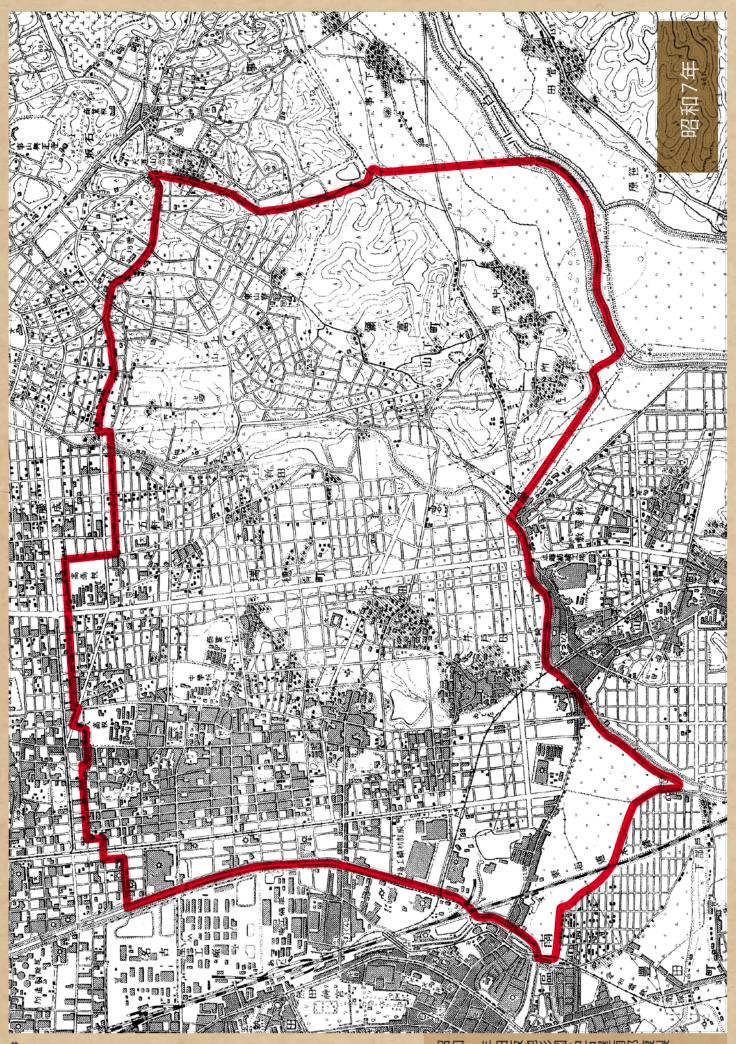
瑞穂区は、まさに、「近代」の魅力あふれる散歩道です。この冊子を 持って、街を歩いてみませんか?

瑞穂区の魅力を考える会を代表して 池田 誠一













参考資料

〈書籍〉

- ①同編集委員会「瑞穂区誌」(2000、名古屋市瑞穂区)
- ②愛知誌「愛知郡誌」(1923、愛知郡役所)
- ②同編集委員会「新修名古屋市史第7巻」(2000、名古屋市)
- ③沼尻晃伸「工場立地と都市計画」(2002、東京大学出版会)
- ④山口拓史「第八高等学校」(2005、名古屋大学大学文書資料室)
- ⑤堀田慎一郎「名古屋高等商業学校」(2007、名古屋大学大学文書資料室)
- ⑥堀田典裕「山林都市」(2012、彰国社)
- ⑦田村喜子「京都インクライン物語」(1977、新潮社)

〈論文•報文〉

- ①佐々木葉「名古屋の都市計画の礎を築いた人物笹原辰太郎について」 (2011、土木学会土木史研究講演会集31)
- ②木島粂太郎「名古屋土地区劃整理事業の沿革」(1926、雑誌「都市創作」2-9)
- ③村田登見「東部丘岡地区画整理に就て」(1926、雑誌「都市創作」2-9)
- ④小島浩「減歩法を意味する換地処分の一例に就て」(1926、雑誌「都市創作」2-9)
- ⑤坂本勝比古「阪神間の住宅地形成に関する基礎的研究(1)」(1993、住宅総合研究財団年集20)

〈図•写真〉

- •「名古屋の統計図鑑」名古屋の地形(名古屋市総務局)
- ・「名古屋市地質断面図集 | 瑞穂区内東西の地質断面図(1987、名古屋市公害対策局)
- •「瑞穂区近代の歴史散歩 身近な「地域遺産」発見・発掘―」 耕地・土地区画整理組合図(2017、瑞穂区役所)
- ・「市営十五年」昭和2年の市電路線図(1937、名古屋市交通局)
- •「名古屋市史9巻地図編」明治39年新堀川改修•工事設計略図(1980、名古屋市)
- •「名古屋大学経済学部五十年史」名古屋高等商業学校(1977、作道好男•江藤武人)
- •「名古屋観光写真 瑞穂公園」陸上競技場(マラソン塔)(名古屋市役所)
- •「石川土地区画整理組合事業報告書」学校法人越原学園(名古屋女子大学)所蔵
- ・ソメイヨシノの樹齢別危険度の割合(財団法人日本花の会)
- •八事耕地整理組合地区町名及び番地整理図

〈地図〉

- •「愛知郡誌」愛知郡図(1923、愛知郡役所)
- •「東郊耕地整理組合 報告書」東郊耕地整理組合原形図
- •尾張三河両国全図(1899)
- •名古屋市街地図(1943)
- ・その他、国土地理院の各年代の地形図
- ※明治24年、大正9年、昭和7年、平成24年の地図(P28~P31)については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2万5千分1地形図及び2万1 正式図を複製したものである。(承認番号 平29情複、第1181号)
- ○なお、各学校、各会社、各財団等のホームページも参考にさせていただきました。



瑞穂区の近代 ―語り継ぎたい四つの街の物語― 平成30年2月発行

企 画 瑞穂区役所地域力推進室

池田 誠一 著 者

発 瑞穂区役所 瑞穂区の魅力を考える会 行

1,000部 印刷部数

株式会社コスモクリエイティブ 印

名古屋市熱田区新尾頭一丁目8番8号

